

新 城 市  
若 者 議 会  
市 長 答 申

令和2年3月27日 午後7時～午後8時

新城市議会 議場

## 1. 若者議会議長挨拶

### 議長／山本彩生委員

若者議会議長の山本です。

若者議会条例第6条第1項に基づき、本日の進行を務めさせていただきます。

ただいまから、新城市若者議会市長答申を行います。

5月の第1回若者議会から、私たちは若者が活躍できるまちを実現するべく、様々な活動を行ってきました。8月の第6回の若者議会では、政策中間報告を行い、担当課の方と意見交換を行いました。11月には、若者議会から市長へ答申し、令和2年度若者予算事業計画を策定いたしました。

本日は、11月に行った市長答申以降、3つの事業についての進捗状況を報告させていただくとともに、若者議会の運営方法等について答申させていただきたいと思います。

また、答申後に時間をいただき、委員から今期1年間の活動の振り返りをさせていただきたいと思います。

それでは、事業ごとの報告に移ります。

初めに、C&Hマッチング事業です。よろしくお願いします。

## 2. 事業報告

### 報告①（C&Hマッチング事業）

企業委員会の請井です。

私たちは、高校生にとって新城の企業が就職先の選択肢の1つとなる。高校生に、新城の企業で働いてもらうことが新城を活性化させる第一歩となると考えました。

そのためには、まず、新城の企業はどんなところがあるのか情報を知ってもらうことが必要だと考え、新城市の企業情報をまとめた冊子及びウェブページの製作を提案しました。答申後、市担当課から企業側からのニーズが分からない、冊子をつくるノウハウがないという御意見をいただいたため、実際に東三河を中心に企業情報雑誌を刊行しており、私たちが政策検討する際に参考にさせていただいた東日新聞さんに意見をお聞きしてきました。

そこで、私たちの政策案に関して、予算面や作成準備期間などのアドバイスをいただきながら、実際に想定している政策案で実施できるのか再度確認を行い、その後、全体会や委員会により効果的な方法を考え、冊子、ウェブの2本立てではなく、冊子をメインに作成していく方向となりました。

また、新城青年会議所でも来年度新城市の企業をまとめた冊子の製作を検討しており、新城の企業を若者に知ってもらいたいと同じ目標を掲げていたことから、行政、青年会議所、若者議会がお互いに協力して冊子を製作していきます。冊子に掲載する内容は、面白く、分かりやすく、なるべく多くの企業を柱に、仕事内容、社内の雰囲気など高校生アンケートで上位にあった項目は掲載したいと考えています。

4月以降の市の担当課への要望は大きく2つあります。

1つ目は、秋頃行った高校生アンケートの結果に、親、先生の助言を基に就職先の企業を決めると答えた高校生が4～5割いることが分かりました。そのため、大人へのアピールが何か必要だと考えています。具体的には、学校で先生などに協力をお願いし、懇談会などで親御さんへ配布してもらう。企業展の開催日を休日にするすることで、親子で参加して

もらうなどです。

そしてもう1つは、市外へのアピールです。

私は、豊橋市の高校へ通っていますが、あまり新城市の企業の情報は入ってこないと感じています。豊橋市の子も新城市の企業について興味はあっても、知らない子が多く、もったいないと思うからです。私たちが冊子やウェブをつくるだけではアンマッチな状況は完全に解決とはいかないと思います。ぜひ、市の方でも私たちがつくった冊子、そして新城市の企業についての周知や配布などに協力していただけると、なおよくなっていくと思っています。

以上です。

### **議長／山本彩生委員**

ありがとうございました。

次に、新城でオパろう事業です。よろしくお願いします。

### **報告②（新城でオパろう事業）**

こんばんは、観光委員会の神藤です。

私たち観光委員会は、新城市の魅力が伝わる人に新城市を好きになってもらうことを目標に、埋もれていた観光資源、オパールを活用した体験イベントを11月に答申しました。その後は、イベントの詳細について議論し、主に当日の行程、アクセサリ作り、広報用のポスター案についてまとめました。

まずは、イベント当日のスケジュールについてです。集合場所は新城駅で、そこから10人乗りの車を使って、もつくる新城へ移動します。市外の方は、電車で新城市へ来ることを想定したとき、途中で昼食をとる時間がないため、行程の最初に食事がありません。この食事の時間を使って自己紹介をするなど、交流の場を持つことで参加者同士も仲良くなり、その後のイベントも楽しんでいただけたらと考えました。昼食後は、谷川へ移動しオパールの採取をします。ここで担当課の方には、オパールの採取を参加者に指導していただくこととなります。具体的には、採取方法、採取した石がオパールかどうかを見分ける工程を指導していただきます。採取後は、旧門谷小学校へ移動し、アクセサリ作りをしていただきます。この移動中には、学習要素としてジオパークに関する新城市の保全、教育、普及活動などのお話をしていただきます。アクセサリ作りの詳細は、後ほど説明させていただきます。その後に新城駅まで移動し、解散です。

雨天の場合は、オパールの採取ができないため、鳳来寺山自然科学博物館にて、担当課の方からジオパークに関する新城市の保全、教育、普及活動などの話をしていただき、施設の案内をしていただきます。

次に、アクセサリ作りについてです。

参加者の方には、アクセサリの写真を見てもらい、作るものを移動中に決めておいてもらいます。今イメージしているアクセサリは、大きく分けてピアス系2種類とアクセサリ系を講師の方が持っているシリコン型枠から数種類用意する予定です。

材料についてですが、多く用意しすぎると悩む時間が長くなってしまうので、用意しておいたものを半分だけ出しておき、もしイメージに合うものがない方がいたら、その都度、

別のものを出していく形をとります。

次の機会に生かすため、最後に集合写真撮影とアンケートを行い、参加者の方の思い出に残るよう、作品を撮る時間も設ける予定です。

3つ目のイベントの周知は、ポスターと若者議会のインスタグラムの2つを活用します。ポスターに載せる写真は、日時、参加費、参加人数、集合場所、イベントを想像しやすい写真を載せます。また、インスタグラムのQRコードも載せ、インスタグラムのほうでポスターに載せきれなかった情報を補完します。雨天時の情報や持ち物、服装やアクセサリ等の情報を写真で掲載していこうと考えております。

最後に、自分たちはこの魅力ある新城市をもっと知ってほしい、体験してほしいという思いでこのイベントを計画しました。今回の主役であるオパールも、今まで新城市民からもあまり知られていなかった我が新城市のすばらしい魅力の1つです。そんなオパールを使ったイベントは、新城市のすばらしさを広げるいい機会になってくれると思います。すばらしい我が新城市を少しでも多くの人に知ってもらうことにこのイベントを役立ててください。

以上で観光委員会からの報告を終わります。

## **議長／山本彩生委員**

ありがとうございました。

次に、手渡しは最高のコミュニケーション事業です。よろしくお願いします。

## **発表③（手渡しは最高のコミュニケーション事業）**

情報発信委員会の市園です。

私たち、情報発信委員会は、新城市に興味を持つ人を増やすために若者議会で積極的にPRをするという目標を掲げ、昨年11月の市長答申で来期以降の広報部の仕組みづくりについて提言をいたしました。答申後は、来期の委員の人たちが広報部活動に行ったときに困らないようなマニュアルと、新城市に関するQ&Aの作成や広報啓発グッズのデザインの検討を行いました。広報部マニュアルの作成は、委員にとって分かりやすいものにするために、何度も校正を重ね、実際に自分たちが広報部活動に行った際に感じたことや、体験談も取り入れ、委員さんがより具体的にイメージできるよう工夫しました。加えて、委員内でロールプレイングを行い、相手からどう思われるか等の客観的意見も組み込み、より信頼性のあるマニュアルの作成を目指しました。

Q&A集は、私たちが活動した経験からよく質問されることや、回答に困ったこと等をまとめたものになります。こちらの作成に当り、私たちはほかの事業を検討する委員からも意見を聞き、より生の声が反映されるようにしました。質問に対する回答例も私たち自らが考え、若者目線での新城のよいところが伝わるよう心がけました。

グッズのデザインは、実際に市議会議員の方々と意見交換もさせていただき、もっと若者らしいインパクトがあってもいいのではなど、様々な意見をいただきました。

現在もデザインは検討中で、来期以降も私たち情報発信委員会の委員たちが意見を出し合いながら作成をしていきたいと考えています。

4月以降、私たちが市に望むことは、委員が広報部活動に積極的に参加できるような環

境を整えていただきたいということです。私たちは今期、軽トラ市や名古屋市の藤が丘で行われたしんしろマルシェに参加し、新城市のPR活動を行ってきました。私たちはその経験を通して、そこが情報を発信するだけでなく、新城市が市外の方からどう思われているかや、新城市のいいところなどを逆に教えてもらうことのできるとても大切な場所だと分かりました。来期以降も委員にはこのしんしろマルシェ、軽トラ市での活動、そして、そのほか多くの場所で広報部活動を継続し、新城市のいいところを伝えていってほしいです。

私たち若者のエネルギーは、同世代はもちろん、どの世代にも刺激になっていると感じています。だからこそ、私たちが情報を発信することに意味があり、効果的に新城市に興味を持ってくれる人を増やすことができると確信しています。

しかし、私たちは最初、広報部活動に出かけた際、話しかけることができず、やり方も分かりませんでした。そんな経験もあり、来期の委員さんには私たちが作成したマニュアルを持って、グッズを身にまとい、自信を持って積極的に広報部活動を行っていただきたいです。私たちの思いが来期以降の広報部活動に生かされ、若者議会の発展につながるよう、私たち自身もつながりを持ちながら携わっていきたいと思います。

以上で情報発信委員会の事業報告を終わります。

ありがとうございました。

#### **議長／山本彩生委員**

ありがとうございました。

最後に、若者議会運営改善プロジェクトチームです。

よろしくをお願いします。

#### **報告④（若者議会運営改善プロジェクトチーム）**

運営改善委員会の井上です。

運営改善委員会からは、次の6つのことについて答申したいと思います。

1つ目は、委員会のメンバー構成についてです。

具体的には、1つの委員会に所属する人数に偏りがないようにすることと、政策検討するテーマは、委員が最低4人集まれば委員会として設置できるようにすることになります。この案の理由としては、今期の委員会編成時に極端に人数の多い委員会ができてしまい、その結果日程調整が難しかったり、意見もなかなか反映されづらかったりなどの問題が起きたからです。これらの理由から、来期以降は5から6名程度の委員会になるように考慮していただけたらと思います。

また、後者の理由としては、先ほど人数の偏りについて触れましたが、偏りを考慮した上で、委員一人一人の希望も反映できるようにしていただきたいと考えました。そのため、もし希望するテーマに人数が5名に達しなくても、4名以上集まれば委員会設置を可能にし、メンターで人数や年齢等のバランスを調整していただければと思います。

2つ目は、広報部活動のやり方についてです。

具体的には、ブログ以外にもインスタグラムを利用した活動を行える環境を整えてほしいというものです。理由としては、今の若者の世代は、ブログではなくインスタグラムを

利用して情報を得る場合が多いからです。そのため、インスタグラムといった若者が普段から利用する媒体を使用すべきだと考えます。しかし、会議のまとめなどに関しては、しっかりとした文章にしてブログで発信するほうが効率よく伝わるため、発信する内容によって媒体を使い分けて発信していただきたいです。

3つ目は、委員会同士での意見交換の活性化について。これは常に同じメンバーでの会議となると意見に偏りが見られるため、ほかの委員の意見を今よりも多く求めることのできる環境にしていってほしいというものです。常に同じメンバーでの会議では、意見が偏り、視野も狭くなってしまっていると私たち委員は感じています。現状、全体会などでほかの委員会との意見交換も行ってはいるのですが、回数が少ないため、より多くほかの委員から意見をもらい、反映できるような環境を整備してほしいと思います。

4つ目は、若者議会の報酬についてです。若者議会に参加している者は、新城市をもっとよくしたい、新城市のために何かできることをしたいといった気持ちで参加しています。政策検討を行う全体会や分科会だけでなく、様々な活動へ自ら手を挙げ参加しており、ほとんどの者が報酬などの支払いの有無にかかわらず、様々な活動に参加するとの意見を持っています。

また、会議に参加する目的は、報酬になってしまうと会議の質が落ちてしまい、委員の意識の低下にもつながることが予想されるため、報酬額を抑える方向で見直しを検討していただきたいと考えます。

5つ目は、出席通知表の発行についてです。

現状、会議への参加数や参加率、報酬額を把握できている委員は、非常に少ないです。会議の出席率や会議数は、委員のモチベーションの向上や進捗状況に対する危機感にもつながっていくため、出席通知表の配付をしていただきたいと思います。

6つ目は、年間スケジュールの進捗管理についてです。

今期は、それぞれの委員会に分かれた後、取り上げるテーマの確定までに非常に時間がかかったため、答申が近づくにつれ、焦りを感じることも多くありました。例えばですが、1年の流れのモデルがあり、そのモデルに比べて自分たちの委員会の進捗状況がどの状況に置かされているかを把握してもらい、危機感を感じながら進めていくことが必要だと考えます。そのため、全体会の年間スケジュールに合わせ、どのあたりまで検討内容が決まっていなければならないのかが、明確に分かるように提示していただきたいと考えます。

以上の6つを運営改善委員会から答申させていただきます。

以上です。

## **議長／山本彩生委員**

ありがとうございました。

## **三浦企画部長**

では、若者議会の皆さん活動報告大変お疲れさまでございました。

それではここで若者議会から市長に答申を行いたいと思います。よろしく願いいたします。

### 3. 答申

#### 議長／山本彩生委員

令和2年3月27日 新城市長 穂積亮次様

新城市若者議会第5期議長 山本彩生 令和元年度新城市若者議会答申

令和元年5月7日付 新ま6・2・1の諮問については、新城市若者議会条例第2条第1号に基づき、下記のとおり若者総合政策の実施に関する事項のうち、若者議会の運営等について答申します。

#### 1 委員会メンバー編成について

委員会に所属する人数の偏りがないように配慮していただきたい。政策検討をするテーマについては、希望するテーマに委員及び市外委員が最低4名集まれば委員会として設置することができるようにしていただきたい。

#### 2 広報部活動について

ブログだけでなく、インスタグラムを活用した広報部活動を行えるように環境を整えていただきたい。

#### 3 委員会間での意見交換の活性化について

常に同じメンバーでの会議となると、意見に偏りが見られるため、ほかの委員の意見をより求めることのできる環境にしていきたい。

#### 4 報酬の見直しについて

活動に対して支払われる報酬は、会議の本質や委員の意識的な部分にもかかわってくるため、支給総額を抑える方向で、制度を見直していただきたい。

#### 5 出席通知表の発行について

個人の出席率等が目に見えて分かったことで、委員にとってのモチベーションの向上や危機感にもつながるため、出席通知表を月ごとに作成し、配付していただきたい。

#### 6 年間スケジュールの進捗管理について

全体会の年間スケジュールに合わせ、どのあたりまで検討内容が決まっていなければならないのか、明確に分かるように提示していただきたい。

### 4. 1年の活動を振り返って

#### 議長／山本彩生委員

続いて1年の振り返りを行います。各委員、順番をお願いします。

初めに、請井映和委員をお願いします。

#### 請井映和委員

委員の請井です。

1年間を通して、本当にやってよかったと思います。委員さんもメンターさんも事務局さんも本当に心優しい人ばかりで、毎回会議が本当に楽しかったです。

若者議会をやっていると、周りの友達や大人の人だったり、学校の先生にも頑張っただけとか、すごいねと声をかけてもらって、本当にすごくうれしい気持ちに何度もなりました。若者議会で身についた発言を積極的にすることや意見を共有することの楽しさを忘れずに、自分も1年後にはもう社会人になるので、頑張っていきたいと思います。

なかなか自分は、思ったことがうまく言葉にできないことが何回もありましたが、そんな中でもサポートしてくれた皆さん本当にありがとうございました。

### **議長／山本彩生委員**

ありがとうございました。

次に、黒田成哉委員をお願いします。

### **黒田成哉委員**

委員の黒田です。

自分は、今年1年、企業委員としてやらせていただきました。自分としても新城市の企業について関心が低くて、実際この政策をやってみて、本当に新城にはたくさんのいい企業があったりするんだなということを改めて感じることができました。最初はもうちょっとほかの事業をやろうかなと思ったのですが、企業も新城市にとってはすごく大切に、今人手不足というのもあったので、企業についてもっと自分でも知ってみたかったし、新城の企業をもっと市内外に発信して、市外の高校生やいろいろな方にも新城の企業に就職してもらって、新城の企業が活性化させられたらという思いでこの1年をやらせていただきました。本当に事務局さんとか、ほかの方々も親身に考えていただいて、自分たちがすごく行き詰まったときとかでもいろいろなアドバイスをくれたり、ほかの青年会議所とかほかの会社の方からも意見をいただいたこともできたので、本当に今年1年はいろいろな意味ですごくいい1年だったと思います。

6期でもこの事業が続いていければ、もっと新城の企業を新城市内外に発信して、新城にもこんないい企業があるんだよということをもっともっとほかの人にも発信できたらなと思います。

本当に1年間ありがとうございました。

以上です。

### **議長／山本彩生委員**

ありがとうございました。

次に、豊田貴宏委員をお願いします。

### **豊田貴宏委員**

私は、故郷である新城市のよいところを市外の方に知ってほしいという思いで若者議会に参加しました。私の所属している観光委員会は、私と同じ思いを持った委員が集まった委員会で、興味を持った観光分野はそれぞれ違うものでしたが、それでも一致団結して政策づくりに励みました。

しかし、若者議会に入って活動を続けているうちに、私は新城市について知らないことばかりだったことに気づかされました。特に、中間発表では新城市の観光業への理解が浅かったことを強く痛感しました。それでも頑張っただけなのは、まちづくり推進課の皆さんやメンターの皆さんに手伝っていただきながら活動をしてきたからです。会議の進め方が分からないときには、率先して助けてくださり、市の現状や行政のルールなどが分から

ないときには、丁寧に教えていただいたり、会議を進める上で必要なものをいつも補助していただいたこと、とても感謝しています。

そして、同じ委員という立場に立ち意見を交わした第5期若者議会の委員の皆さんにも感謝しています。こんなにも真剣に地元のことについて話し合ったのは初めてで、私が自分の見てきた新城市について語ったとき、ほかの方が別の角度から見た新城市を語り、会議をよりよいものにしようとしている、それにほかの委員も続けて意見を出しているのを見たとき、私の見てきた新城市は、一部でしかなかったと思い、もっと新城市について知りたいと思えるようになりました。

私はよく周りの人に新城市には何もないと言われます。ですが、実際は知られていないだけで、ほかのまちにも負けないものがたくさん新城にはあります。そういったものが今後、周りに周知されその立て役者が若者議会であつたらいいなと思っています。

私はこの1年で広い新城市への理解を少しだけ深めました。そして、この地元を好きになれたことをとても誇りに思います。これからも若者議会が続き、地元のことを心から好きになれる若者が増えることを願っています。1年間貴重な体験をありがとうございました。

以上です。

## **議長／山本彩生委員**

ありがとうございました。

次に、水野しづく委員をお願いします。

## **水野しづく委員**

情報発信委員会に所属していた水野しづくです。

私は、この1年の若者議会の活動を通して私が一番感じたことは、新城は魅力がたくさんあるのにそれが伝わっていないということでした。これは、市外の人に魅力が伝わっていないという面もちろんありますが、何よりも私自身が新城の魅力をあまり知らなかったということを実感しました。しかし、情報発信委員会としての活動や、市外での広報活動を通して、新城の魅力がはっきりと私にも伝わりました。

例えば、新城の食の魅力について、八名丸里いもコロッケや新城緑茶のおいしさに改めて気づき、また、感動するほどおいしい新城紅茶にも出会いました。若者議会に入って活動していなければ知ることのできない魅力だったかもしれません。なぜなら今まで私は新城の魅力を積極的に知ろうとあまり思っていませんでした。しかし、ほかの人に魅力を伝えるために新城について調べ、また、普段の生活の中でより新城を意識したことで、今まで見逃していた新城の魅力に気づけました。

この若者議会での活動は、自分のまちについて知ろうと思うきっかけになった本当に貴重な経験でした。そして、若者議会での委員会活動によっても成長できた点がありました。例えば、若者議会の私の所属していた情報発信委員会は、メンバーがほぼ年下の高校生で、年上として会議で積極的に発言を心がけたり、相手の意見を否定せずに、でも問題点はきちんと伝えたりと、きちんと相手に配慮しつつも意見を出すということを今までより意識して行うことができました。

私はたくさんの会議や活動を通じて、また1つステップアップできたように感じます。この1年の経験を生かして、これからの私の人生をより豊かなものにしていきたいです。職員の皆さん、メンターの皆さん、委員の皆さん、ありがとうございました。以上です。

### **議長／山本彩生委員**

ありがとうございました。  
次に、神藤夏帆委員をお願いします。

### **神藤夏帆委員**

私は、若者議会に入って2つの点で成長することができました。それは、人の意見をしっかり聞く力と自分の意見を作り出す力です。人の意見をしっかり聞く力は、ほかの方が出した意見をただ聞くだけでなく、この考えが採用されたらこの部分はこうしようなど、その意見について想像し、話を広げながら聞くことができるようになりました。

自分の意見を作り出す力は、ほかの方が出したアイデアをただうなづきながら聞くだけでなく、自分はこうしたい、こんな考え方はどうかなど、思っていることを周りの方に伝えることができるようになりました。初めの頃は、自分の考えを何も持たず、ほかの方が言うことだけにうなづいて、ただただ時間が過ぎていく、無駄な会議の過ごし方をしてしまっていた自分がここまで自分の意見を言えるようになるとは思っていませんでした。この1年間を通して、自分自身大きくレベルアップできたと思います。また、この1年間は、今までで一番新城市について調べ、新城市について考えた時間でした。

実は、新城市には、日本の滝百選があったり、博物館や資料館が私の知っているもの以外にも多くあったり、私の知らなかった深い歴史があったりなど、驚くような内容がたくさんありました。私が生まれたときからずっと住んでいる新城市には、こんな魅力があるのかと知れば知るほど新城市が好きになっていきました。とても有意義な1年間を過ごすことができたと思います。これからは、自分自身若者議会の委員だったという誇りと責任を持ち、もっともっと新城市を愛していけるような活動をしていきたいと思っています。若者議会に入ることができて本当によかったです。

皆さん1年間楽しい時間を本当にありがとうございました。  
以上です。

### **議長／山本彩生委員**

ありがとうございました。  
次に、佐々木威芙委員をお願いします。

### **佐々木威芙委員**

こんばんは。委員の佐々木威芙です。

自分は、東栄町出身という立場でありながら、分け隔てなく接してくれた委員の皆さん、メンターの皆さん、職員の皆さんに感謝したいと思います。ありがとうございました。

自分が新城市の若者議会を知ったきっかけは、第2期若者議会の政策の活動のひとつで

あった若者議会シンポジウムというものでした。自分はそこで、会議に参加し会議がおもしろいということを実感していました。そして、この楽しいと感じた若者議会に1年間参加したことで、たくさんのことを学ぶことができました。

自分は、あまり周りの人の意見を聞くということをせずに、自分の意見を通すことばかり考えていた時期がありました。しかし、他人の意見をしっかりと聞き、その意見に対して自分がどのような意見を持ったのかをはっきりと口にし、よりよいものにするためにはどうしたらよいかをしっかりと考え、会議することができたと思います。

また、若者議会をやっていたことで、学校の友達や周りの人にも新城市の魅力を少しでも伝えることができたのではないかなと思っています。

自分はこの1年間、若者議会に入って本当によかったと思います。自分は、来年度参加することはないと思っていますが、それでも今後の人生で活躍することが新城市若者議会に入っていたことへの最大の感謝だと思っているので、その誇りを胸に来年以降も頑張っていきたいと思っています。

本当にありがとうございました。

#### **議長／山本彩生委員**

ありがとうございました。

次に、古瀬愛優美委員をお願いします。

#### **古瀬愛優美委員**

情報発信委員会の古瀬です。

私は、若者議会に入る前は、自分の意見があまりなく、意見があったときも周りの空気を読んで言えず、封じ込めてしまうこともありました。でも、メンターさんが手助けしてくれたりするので、会議を重ねていくにつれて言いたいと思うほどに進化していきました。この変化は、自分にとって今後の社会生活に役立つ大切なものになると思います。

また、一番若者議会を通して影響を受けたのは、同世代との話し合いです。同世代の人が多く情報発信委員会に入って、一度話し合いがバチバチになったことがありました。そのときは、みんなが自分の意見を大切にしていること、真剣に相手の意見を聞き入れ、自分の意見を柔軟に変化させていくことに気づき、そんな人が多くいるチームだからこそ自分の意見を相手に伝える努力をするようになっていったのではないかと思います。

そして、同じ新城市を変えたいという思いと、私が持っていないような意見を持つ年下の人や同級生の人、全く違う視点を持つ方と真剣に主体的に話し合いができるのは、この若者議会ぐらいだと思います。私に変化を与えてくれたことを本当に感謝しています。若者議会に出会えてよかったです。

以上です。

#### **議長／山本彩生委員**

ありがとうございました。

次に、市園響委員をお願いします。

## 市園 響委員

私が若者議会に入ったばかりのときは、慣れない話し合いで回りの様子を伺ったり、戸惑ったりすることもありましたが、思ったこと、感じたことを自分の中にとどめず、発表できるようになりました。

私は、この若者議会に入って話し合いをすること、意見をまとめて発表することに慣れることができました。若者議会に入るまでは、人前で発表すること、話し合ったことをその場でまとめてすぐに発表することが苦手でしたが、今では抵抗がなくなりました。そして、たくさんの仲間にもまれて楽しく活動することができ、私にとって貴重な経験ができました。

私は、情報発信委員会のメンバーとして、新城に興味を持つ人を増やすという目標で、広報部の仕組みづくりや、グッズ、ポスターの作成、そして藤が丘のしんしろマルシェや軽トラ市でのPR活動を行ってきました。話し合いのときは、人数が多く、高校生の割合が高い委員会であったこともあり、時間がかかってしまうことや、なかなか話し合いが進まず、苦戦したこともありました。全員が納得することができず、何度も話題を戻して1から話し合うことがありましたが、それだけみんな本気で考え、それぞれに思うことがあり、話し合いをしているのだと感じました。やる気とエネルギーに満ちた明るい委員会で活動することができてよかったです。

市外の学校に通っている高校生として、その力、市外の人々の目線での意見や、新城に対する印象を聞くことによって、自分自身がさらに新城のよいところを深く知ることができ、それをどのように市外の人に伝えるべきか考えることができました。終礼後、胸を張って「今日、若者議会に行ってくるね」と友達に言い、この1年間、自分のふるさと新城に誇りを持って活動することができました。

今後は、若者議会で経験したことを生かして、学校での話し合いやグループ活動でも率先して発言をし、司会などもやってみたいと思います。そして、第6期若者議会にも応募しようと考えているので、再び委員になることができれば、私たちが作成した広報部の仕組みを利用して、イベントでの活動に積極的に参加するとともに、ほかの事業にも携わってみたいと考えています。

また、若者議会で決められた事業だけでなく、若者目線で普段新城に対して感じている問題点の改善案なども提案できるようなまちに新城市がなればよいと考えています。

本当に1年間ありがとうございました。

## 議長／山本彩生委員

ありがとうございました。

次に、井上文誉委員をお願いします。

## 井上文誉委員

情報発信委員の井上文誉です。

僕が約1年間、若者議会で活動して印象に残ったことは、年上の方々の知識の多さということだと思います。多くのことを知っている年上の方々と、高校生である自分が同じ内容について話し合う中で、自分では思いつかない視点や考え方がどんどん出てきて驚くことばかり

でした。

自分は、最初の頃は、この案だったらいいかなといった感じで、自分の考えをそこまで深く考えてはいませんでした。しかし、自分の考えを発言してみると、いろいろな視点からの意見をもらい、もっと視野を広げて考えなくてはいけないと思うと同時に、一人ではなく、みんなで考えることの大切さも実感しました。そこからときには、高校生の目線がとても大切になるという思いや、みんなで考えることの大切さから一つ一つの意見を大切に考えられるようになりました。そのほかにも、この1年は様々な場面でたくさん成長できる機会がありました。ときには、若者議会のメンバー全員の意見を一緒に話し合うことができたりと、普段若者議会に入らない限りは、経験できないこともたくさん経験することができました。

また、自分が普段、新城市に感じていることを様々な年代のメンバーたちと共有し、話し合うことができたので、自分も仲間と協力して1年活動することで、成長することができたと思います。

新城をよりよくしたいという気持ちで入った若者議会ですが、若者議会での経験を通して、自分を若者議会に入る前より成長させることができたと感じています。

以上です。

#### **議長／山本彩生委員**

ありがとうございました。

次に、中西航太郎委員をお願いします。

#### **中西航太郎委員**

情報発信委員会の中西です。

僕たちの委員会は、高校生中心の委員会でした。最初のほうは、まだ入りたての高校生が多かったので、意見があまりまとまらず、さらに中間テストや期末テストなどで全員集まるのが厳しい状態で進んでいき、最初のほうはあまりいい政策が提案できてなく、市役所の方にだめ出しされたりしたのですが、そういった経験があったからこそ、今、自分たちが提案した政策は来年度の委員会の人たちが広報する上ですごく役立つものができたと自分は思っています。

この1年間で自分より下の後輩たちや自分より上の先輩たちにたくさんのことを学び、とてもいい経験ができました。来年以降は、僕は大学生で、新城を出ることになるのですが、大学生活の中で同級生の子たちに新城の魅力であったり、若者議会で身につけたものを大学生活で生かしていきたいと思っています。1年間本当にありがとうございました。

以上です。

#### **議長／山本彩生委員**

ありがとうございました。

次に、曾田こころ委員をお願いします。

## 曾田こころ委員

第5期若者議会委員企業委員会の曾田こころです。

私は1年前、新城市をよりよくしたいという気持ちと自分を成長させたいという気持ちを持ち、若者議会に参加しました。当初は、具体的に何をして新城市をよくするんだということはできませんでしたが、企業委員会に入り、それからは明確な目標を持って活動をしていくことができたと思います。

私たち企業委員会は、高校生に新城市の企業を知ってもらい、就職先の一つとしてもらいたいと考え、新城市の企業の情報をまとめた媒体の製作を提案しました。政策を進めていく中で、委員会の中での話し合いだけではなく、東日新聞さんや新城青年会議所さんとの意見交換や、市議会の方々との意見交換をさせていただくこともありました。実際に社会に出て働いている方々の意見に自分の力のなさを痛感するとともに、政策に対するたくさんの方のアドバイスをいただき、大変勉強になりました。このような経験を1年間させていただくことができたこと、大変うれしくありがたく感じております。

若者議会に参加した当初に、答申で自分の自己成長を図りたいと言いました。自分では以前よりも自分の意見を持ち、言葉にすることができるようになったと感じております。私たちの政策はまだ実現の途中であるため、今は高校生の皆さんの就職活動に活用してもらえないいいものを完成させたいという気持ちが大きいです。

最後になりましたが、若者議会学んだことをこれからの人生に生かしていきたいと思っております。

1年間ありがとうございました。

## 議長／山本彩生委員

ありがとうございました。

次に、渡邊花奈市外委員をお願いします。

## 渡邊花奈市外委員

情報発信委員会の渡邊花奈です。

私は、市外委員だからできることを考えて活動してきました。初めは、新城市について知らないことが多くあり、会議では意見や主張をあまり出すことができず、聞いていることが多かったのですが、自分の意見が政策の一部になるのを見ることができ、またそれが少しずつ積み重なり、自分の言葉に自信を持てるようになりました。

また、若者議会の活動を通して、新城市を深く知ることができました。しんしろマルシェや軽トラ市などでアンケートの調査やパンフレットを配る活動をしている際に、新城市への行き方や山の湊号の値段や時間など、いろいろな質問をされ自分の知らないこともたくさんあり、そのたびに調べたり、パンフレットを広げて探したり、ほかの委員さんやメンバーさん、事務局さん方に助けをいただきながら説明をしていました。ときには、無視されたり、厳しい言葉をかけられるときもありましたが、それ以上に少しでも多くの方に新城市を知ってもらえたということがうれしかったです。

私は、若者議会に初めて参加したときより、新城市について多くのことを知ることができましたし、今期は支えられてばかりでしたので、また機会があったらもっと力になれる

ように活動したいと思います。

1年間ありがとうございました。

### **議長／山本彩生委員**

ありがとうございました。

次に、永井優斗市外委員お願いします。

### **永井優斗市外委員**

1年間、市外委員を務めさせていただきました、永井優斗です。

私は、新城市で育ちましたが、大学進学を機に市外に移動しました。そして、学生最後の年となったので、生まれ育った新城市に恩返しをしたいと考えたことがきっかけで参加させていただきました。新城からとても遠くて距離がありましたが、できる限り新城市に出向いたり、ネット環境を通じて全体会や委員会にも多く参加できたと思います。

市外委員として新城市で育ち、また、離れた人間として新城市というものをより客観的にまた、俯瞰的に捉えるように心がけて活動してきました。

また、企業委員会の一員として、直近で就職活動を経験した人間として、社会人の方や高校生の方と意見を交わしながら、考えを深めることができたと思っています。高校生と企業のマッチングという事業は、今後の新城市が発展していく上で重要な課題だと私は考えています。このように、私は新城市の重要な課題を若者自身で考え、提案し、行動を移せる若者議会という環境にありがたさを痛感しました。

1月に実施したわかものまちなみサミットにおいて、若者活動の継続ということが内容で議論を交わしたのですが、その中で若者参画の継続というものは、若者がやりたいことに挑戦できる環境を継続することとおっしゃっている方がいたので、私もそのように考えています。新城市若者議会という若者が挑戦し、活動を通じて成長できる環境が続くことを強く願っています。そして、私みたいに新城から進学を機に離れ、知識を得るために大学に行った方が、また新城市に対して客観的に見ることを通じて貢献できるような制度ができるといいなと感じました。

私はこの1年を通じて、より多くの知識と経験を得ることができ、成長することができました。いつかこの経験を通して、新城市にもっと恩返しができる立場になって、恩返しをしたいと思います。

市長を初め、議会の皆さん、そして事務局の方々、メンターの方々といった大人の方々の理解があったためこのような活動ができたと思います。感謝申し上げます。

ありがとうございました。

### **議長／山本彩生委員**

ありがとうございました。

それでは、続いてお忙しい中、御出席いただきました、鈴木市議会議長様から御挨拶をいただきたいと思います。

## 5. 市議会議長挨拶

### 鈴木市議会議長

若者議会の皆様、1年間お疲れさまでございました。

新城市をよくしたい、市のために役に立ちたいという気持ちで、若者議会に参加していただきまして、本当にありがとうございます。若者の視線、そして気持ちがこの町に向いているということだけで、いかに私たち市民の励ましになっているか、若者議会の存在そのもの、自負すべきではないかなと思っております。

この1年、企画から事業化、予算化、そして具体的なことまで、悩み多き道のりだったかなと思います。若者議会の期待も大きくて、プレッシャーもあったのではないかと思いますけど、最後までめげずに本日の答申へとゴールされたことは本当に敬意を表したいと思います。

若者の特権は、ずっとこの先まで続く、そしてその今が、未来に続く今があることだと私は思っております。けれども、今のこの今はまた二度とは来ないということでもありますので、皆さん、できたこともあると思いますけれども、こうすればよかった、ああすればよかった、未完成の部分、そして不満足な部分あったと思いますけど、それもひっくるめて皆さんの頑張りが、今でしかできないものの完成品として出来上がったのではないかなと思っております。これも自負してよいのかと思います。10年後では同じものできないと私は思っております。

皆さんは、人生の中で唯一、この若者議会というチャンスをものにしたわけでございますけれども、3つの事業、C&Hマッチング、それからしんしろでオパろう、手渡しは最高のコミュニケーションというタイムリーな、そして目のつけどころがすばらしい事業を提案していただきました。また、若者議会の運営については、本当に細かい、やはり現場で自分がやってきたことだからこそ分かる運営に対しての提案、答申をしていただきました。これが次年度以降の運営議会に生かされていくのだろうと思います。活性化ももっともってしていくのだろうと思っております。

市議会との意見交換もしていただきまして、それが役に立ったか少し心配なところがありますけれども、私どもとしては本当に皆さんの声を聞けたということで、新城市議会にとっても本当に刺激になったと思って感謝したいと思います。

今、皆さんのすがすがしい、振り返りの言葉を聞かせていただきました。こちら、気持ちも洗われるような受け止めで聞かせていただきました。これからは私どもも頑張らなければいけないということ、逆に感じたところです。

3つの事業そして、議会の運営については、この先どう実現していくのかということも心配なこともあるかと思っております。来年度もぜひ新城市に目を向けていただきまして、若者議会がどう育っていくかというようなところに力を貸していただきたいと思っております。

若者議会での1年、本当に皆さんの大きな財産だったと思います。これからの挑戦に生かしていただきたいと思います。この体験を生かして、それぞれの道、社会、できれば新城の地での活躍に期待しているところです。これからは若者議会を通して新城市のために力をいただければと思います。

どうもありがとうございました。

## 議長／山本彩生委員

ありがとうございました。

最後に、穂積市長から御挨拶をいただきたいと思います。

## 6. 市長挨拶

### 市長／穂積亮次

皆さん、こんばんは。市長の穂積亮次です。

今回の若者議会第5期の若者議会の最後の答申となりましたけれども、今年は皆さん御存じのとおり、新型コロナウイルスとの戦いの中で、今こうした新しいウェブ会議という形で開催をすることになりました。ちょうど、この会議が終わって後、今、午後8時ですけれども、9時からはこの同じ場所で、私はこれからニューキャッスル・アライアンスの仲間たちとウェブ上の会議をすることになっています。4月21日から28日にかけて開催をする予定であったスイスムシャテル市でのニューキャッスル・アライアンス会議、若者たちもユースの代表も参加をする予定でしたけれども、残念ながら現在の新型コロナウイルスの蔓延の中で中止となったわけですけれども、その後の対策について、これから1時間後に話し合うことになっています。このウェブのルート、ネットワークで皆さんと今、この時間でつながっているわけですけれども、いまや同時に世界の全ての人たちの健康、生活、運命というようなこのネットワークで1つにつながっているように、1つのもののように感じられるこの時点です。こうした歴史のおそらく世界史の中にも残るであろうこの今を生きている時点で、第5期の若者議会の答申を受けたこと、そして変則ながらウェブ上の会議でこうしたことが生き生きと皆さんの息づかいが聞こえるような臨場感を伴って、委員の皆さんの思いを聞いたことも1つの大きな記録に残る1ページではないかなと思っています。

今日は、3つの事業の委員会の皆さんの活動の報告、そしてこれからの運営にかかわる提案、そして答申を正式にいただいて、さらには1年間の振り返りの話を聞くことができました。去年の若者議会予算の答申の中でいただいた3つの事業についての思いをさらに今日は、より深くまた、その後の経過を含めて聞くことができましたので、来年度、第6期の若者議会の活動と合わせて、これが着実に実行できるように市の予算として執行していくようになると思います。既に、市議会の3月議会で若者議会の提案した予算は、全て議決を受けましたので、年度が変わった環境ですけれども、しっかりと実行していきたいと思いますし、また、第6期の若者議会委員の皆さんに第5期の皆さんの思いもしっかりとつなぎながら、そしてできるならば今回の答申をしてくれた皆さんが第6期の若者議会の活動にも様々な形でかかわってもらえると嬉しい限りだと思います。

これから皆さんそれぞれ年度が開けて、いろいろな進路が違っていると思いますけれども、今回の若者議会の体験を共有点として、これからもつながり合ってほしいと思います。

それから、この機会ですので、私から1つだけお話をしたいと思います。それというのは、今回の運営の中で、若者議会の委員の報酬のことについて触れてもらいました。できる限り報酬額を低く抑えて運営をしてほしいということは、皆さんの市政あるいは市民にいただいた予算執行、市の財政含めて、大きな気持ちとして受け止めて、皆さんの思いが

できるだけ反映できるようにしたいと思いますが、同時に1つだけ申し上げたいのは、皆さんが委員の報酬を受け取っていることについて、決して卑下したり、後ろめたく思ったり、戸惑ったりする必要はみじんもないということをお願いしたいと思います。

1つは、まず形式的に言いますと、この若者議会は市長の附属機関として設けられていて、その機関に参加する人への報酬というのは市の条例で決まっています。その条例に基づいて支給をしているということ、これがまず出発点であり入り口です。

しかし、今日お話ししたいのは、もう少し別のことです。これからの時代に、一番大切になる価値、情報の時代、AI、IoT、こんなことが言われています。データ資本主義という言葉も言われています。知的財産という言葉を知っていると思うのですが、知識の知、何々の知的とか、目的ですね、そして財産、これは縮めて知財といたりしますが、その知的財産がこれからの時代にとって一番大切に思われていく、そういう価値をつけていく時代になります。

市が審議会に参加をする方々、委員会に参加していろいろな意見をいただく方々に報酬を支払うというのは、そのために費やされた、そのために参加していただいた時間に対する対価であるとともに、その人が市のために提案をしてくれる提案、企画、意見、これは全て知的財産です。皆さんの持っている知的な所有物です。それを市の、公共のために役立ててもらうために委員会に参加していただき、それに対して対価としての報酬を支払う。これは当たり前のことです。と同時に、皆さんの意見は決して自分一人で作ったものではありません。

生まれてから御家庭、保護者の方々、兄弟、親戚、地域の方、こども園に行った方は、保育士さん、幼稚園の方は幼稚園の教諭、小学校の先生方、中学校の先生方、教科書あるいはテレビや雑誌、インターネット、いろいろなところから知識や情報を仕入れて、そしてその中で自分の意見を一步一步形成してきたと思います。若者らしい意見を出してほしいという、皆さんが16歳から29歳ぐらいまで、大体その期間、その期間にしか持っていないものを出してもらいたいから若者議会をやっています。その期間にしか持っていない意見というものは、同時に一人で作ったものではなくて、ここまで育ててくれた御家庭の保護者の方、先生方、学校教育、こういうものの全ての成果がその中に詰まっています。ですから、市としては皆さんに、まだ10代の若い皆さんに過分とも思えるかもしれない報酬をお支払いしていますけれども、それは決して君たち個人に御褒美としてあげたものではありません。ここまで育ててくれた御家庭、学校、教育、地域、仲間、友達、そうした皆さんが育ててくれたことへの市としての対価であり、また、皆さんがそのために時間を費やしてくれていることへの対価であり、皆さんを快く送り出している御家庭や先生方への感謝であり、そして同時にこの1年間で必ずお互いの仲間のうちの切磋琢磨の中で皆さんが必ず成長してくれるであろうということへの期待を込めた投資でもあります。そうした意味でこの若者議会での活動を思う存分やってもらうとともに、1,000万円の予算を使う責任を痛感していると思いますし、同時に日額いくらとしていただく報酬についてのいろいろな思い、悩みがあったと思いますが、それは当たり前の悩みだと思いますけれども、我々市のほう、市長としては、これはあくまでも正当な報酬であり、対価であり、今この時期にしか言えない意見を言うってもらうための1つの手だてだと思っていますので、それをこれからより多くの公共、社会のために使っていただきたい。この

1年間で得た新しい知識、新しい意見、新しいコミュニケーション能力を社会のために役立てほしいと思います。そうした思いを込めて第5期の若者議会の皆さん、全員、またメンバー委員の皆さんに心から敬意と感謝を申します。

最後になりますが、このコロナウイルスの蔓延、感染の拡大を防ぐとともに正常な社会経済活動を全世界の皆さんと一緒に回復できるように、それぞれの持ち場で役割を果たしてほしいと思います。まずは、最大限に健康であること、そして周りの皆さんに気を使いながらできる限りのことをしてほしいと思います。それぞれいる場所は違いますが、ニューキャッスル・アライアンスの皆さん、世界の人類の皆さん、今一つになっている、そんな気持ちを共有しながらこの若者議会を終えられたらと思います。

ありがとうございました。

### **議長／山本彩生委員**

ありがとうございました。

若者議会での時間は、とても有意義なもので、ほかのことでは経験できないことや、感じることでできないことをたくさん経験し、感じ、吸収することができました。

私は、観光委員会に所属し、政策を考えることで自分の知らなかった新城市のいいところをたくさん知ることができました。今までは、新城って何があるのと周りに聞かれたときに自信をもって答えることができなかったのですが、今なら自信をもって新城のいいところをたくさん伝えることができます。これも若者議会のおかげです。

1年間、たくさんの方に支えていただいたことで最後までやり切ることができました。ありがとうございました。この1年間の経験をバネに、これからもたくさんの方に挑戦し、成長していきたいです。

これをもちまして、第15回新城市若者議会を閉会させていただきます。

午後8時 終了